

第7回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第7回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議		
日時	令和5年2月28日(火) 13時30分～16時00分		
場所	橋本市民会館第3A、B研修室		
出席者	委員 (敬称略)	堀内 秀雄 乾 幸八 平家 利也 田村 亜美 井潤 千恵子 森田 知世子 玉井 勝代 佐藤 陽子 今田 実 上田 ひと美 岸田 昌章 戸島 浩子 中谷 維志 東 美樹 平田 敬二	【出席委員：15名】
欠席者	委員 (敬称略)	前田 陽一郎 是枝 美海 小原 秀紀	【欠席委員：3名】
事務局		総合政策部長 土井 加奈子 政策企画課長 中岡 勝則 政策企画課長代理兼地域振興係長 前川 朋久 地域振興係主査 上原 慎太郎	
次第	1. 開会 2. 報告 ①職員協働研修 ②協働に関する職員アンケート 3. 議事 ①報告交流会 ②提言書 4. その他 5. 閉会		
資料	資料1 職員協働研修報告 資料2 協働に関する職員アンケート結果 資料3 提言案作成部会会議メモ 資料4 報告交流会要綱 資料5 提言書(案)		

1. 開会

2. 報告

①職員協働研修

【事務局説明】資料1

- ・資料を基に概要を説明。
- ・資料は内部資料とする。取扱注意。
- ・参加者は職員39名、委員8名
- ・事務局としては、実施時期を早めたいと考えている。第3期での検討事項として頂きたい。

【参加委員感想】

- ・参加いただいた職員の皆さんが協力的でやってよかったと思った。
- ・職員と話せたのはとても良かった。職員がどう思ったのか気になる。
- ・グループの人数が調度良かった。
- ・最初は何から話せばよいかわからなかったが、だんだんと意見が出てくるようになり、良い発表になった。
- ・全体的には良かったが、グループワークに慣れていないとも感じた。
- ・いろいろな方がいるのが分かって、有意義な時間を過ごせた。

【まとめ】

- ・報告資料については内部資料として、来期以降の委員会活動にも生かしていく事を確認した。

②協働に関する職員アンケート

【事務局説明】資料2

- ・資料を基に概要を説明。
- ・対象は市民病院を除く、市職員全員（会計年度任用職員）を含む776人。回答率は74.36%。
- ・提言書(案)P15に各部回答率のグラフを記載。
- ・アンケート回答率は令和3年度46%から大幅に増加している。
- ・事務局としては、実施時期を早めたいと考えている。第3期での検討事項として頂きたい。

【委員意見・質問】

- ・アンケート内で課題として挙げられている箇所は、翌年度改善されているかなど

確認しても良い。

- ・年度末にアンケートを実施しているので、委員会として活用しきれないのが残念。
 - ・アンケート結果を正職員と会計年度任用職員で分けて集計しても良いのでは。
 - ・アンケート回答率が大幅に増加した理由は。
- 庁内会議でのアンケートへの回答依頼やリマインド等を行った。

【まとめ】

- ・アンケート結果についても内部資料として、来期以降の委員会活動にも生かしていく事を確認した。

3. 議事

①報告交流会

【事務局説明】資料3、資料4

- ・資料を基に概要を説明。
- ・提言案作成部会より、交流会の説明者を平田委員に依頼したい旨報告。
- ・はぐくむサポーター及び庁内への案内については、事務局へ一任していただきたい。

【委員意見】

- ・委員からサポーターへの声掛けを行う。
- ・メディアへの情報提供を行っては。

【結果】

- ・すべての事案について、原案通り承認された。

②提言書

【事務局説明】資料3、資料5

- ・資料を基に概要を説明。
- ・基本的な部分に関しては、文書を読み上げて確認。
- ・資料編「8. 資料編(5)まなびの日展示物」は背表紙に画像がある方がよいと考えたため、あえて順番を変更している。
- ・「3. 今期の委員会活動(1)会議等の経過」は全体的な会議等を記載しており、グループなどの個別活動は記載していない。

【修正内容】

- ・目次に「3. 今期の委員会活動」を追加。
- ・P7、上から6行目の「□」は削除する(他グループと記載方法を統一する)。
- ・「3. 今期の委員会活動(1)会議等の経過」令和3年8月17日勉強会の表現を変

更する。

- ・P10⑩の「共同活動」を「協働活動」に変更する。
- ・「てにをは」や表記のゆれを修正する。

【委員意見・質問】

- ・スペースに余裕があるのであれば、「まなびの日」は「すこやか橋本まなびの日」に修正しては。
- ・地域運営組織検討懇話会内で『地域運営組織』の標記を『まちづくり協議会』など親しみやすい、分かりやすい標記に変更することを検討する」とあったが、提言書はどうするのか。

→提言書は正式名称の「地域運営組織」で記載する。

- ・説明がある方が分かりやすいのであれば、ページ下部や最後に脚注を載せては。
- ・「詩論的」が難しく感じる。

→表現の仕方を検討する。

- ・「5. 第2期のまとめと第3期への宿題と方向性」について、1点目は人づくりが非常に大事なため、地域おこし協力隊などの専門者の発掘・連携が今後の課題。2点目は高野山麓市町村で共有した地域づくりの提案。
- ・見える化のひとつとして、文字ではなくイラストで終わるのは良い。
- ・令和3年度の研修について、わかやま NPO センター志場氏に依頼して動画を作成したが、その説明はなくても良いのか。
- ・地域運営組織は脚注説明があったほうが良い。

【結果】

- ・内容は基本的に承認いただいた。
- ・修正を行い、3月10日（金）を目標に全委員に対して送付する。
- ・今後の修正については、正副委員長及びグループ長に一任する。

4. その他

特になし

5. 閉会

乾副委員長挨拶

以上

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄

【會議録署名欄】

委員 井 潤 千 恵 子

【会議録署名欄】

委員

上田 ひと美